

秋田県由利本荘市沖（北側・南側） 洋上風力発電事業 概要説明

秋田由利本荘オフショアウインド合同会社

2024/3/18



YURIHONJO
Offshore Wind

1 事業概要

2 協議会意見とりまとめにおける留意事項への対応方針

3 秋田県内企業とのマッチング

4 地域共生

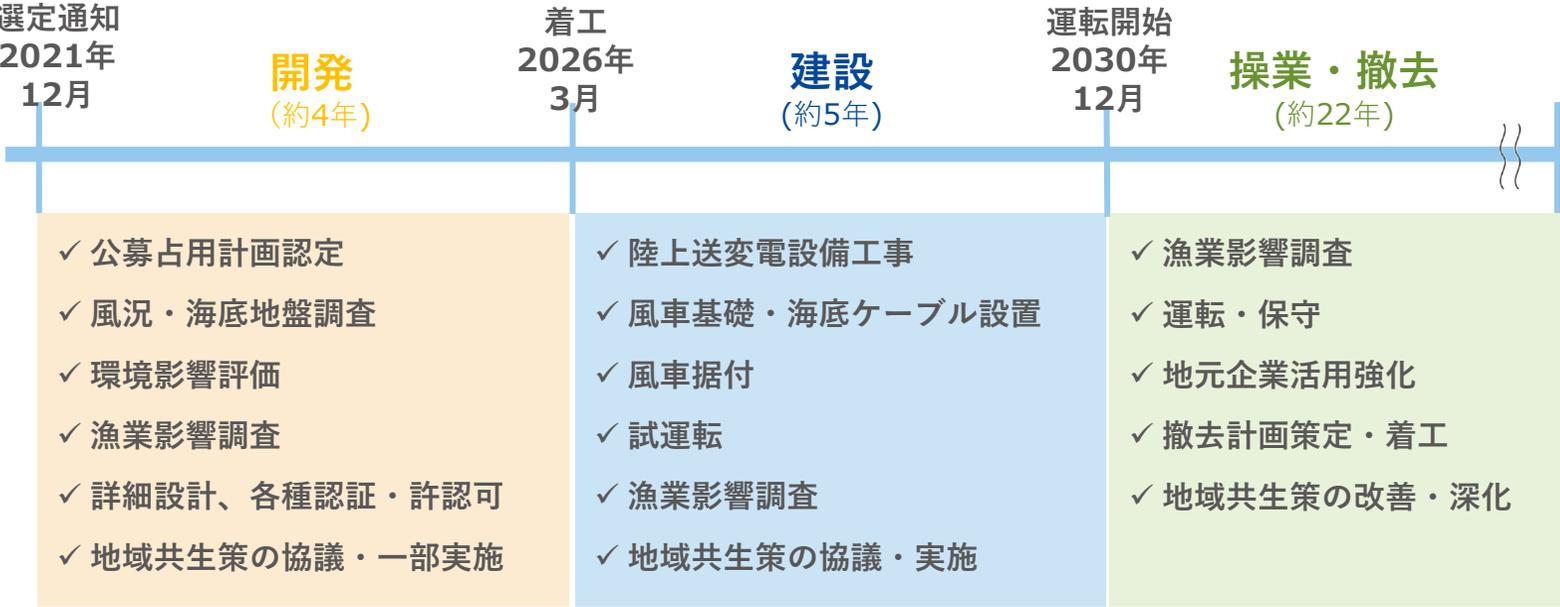


事業概要



YURIHONJO
Offshore Wind

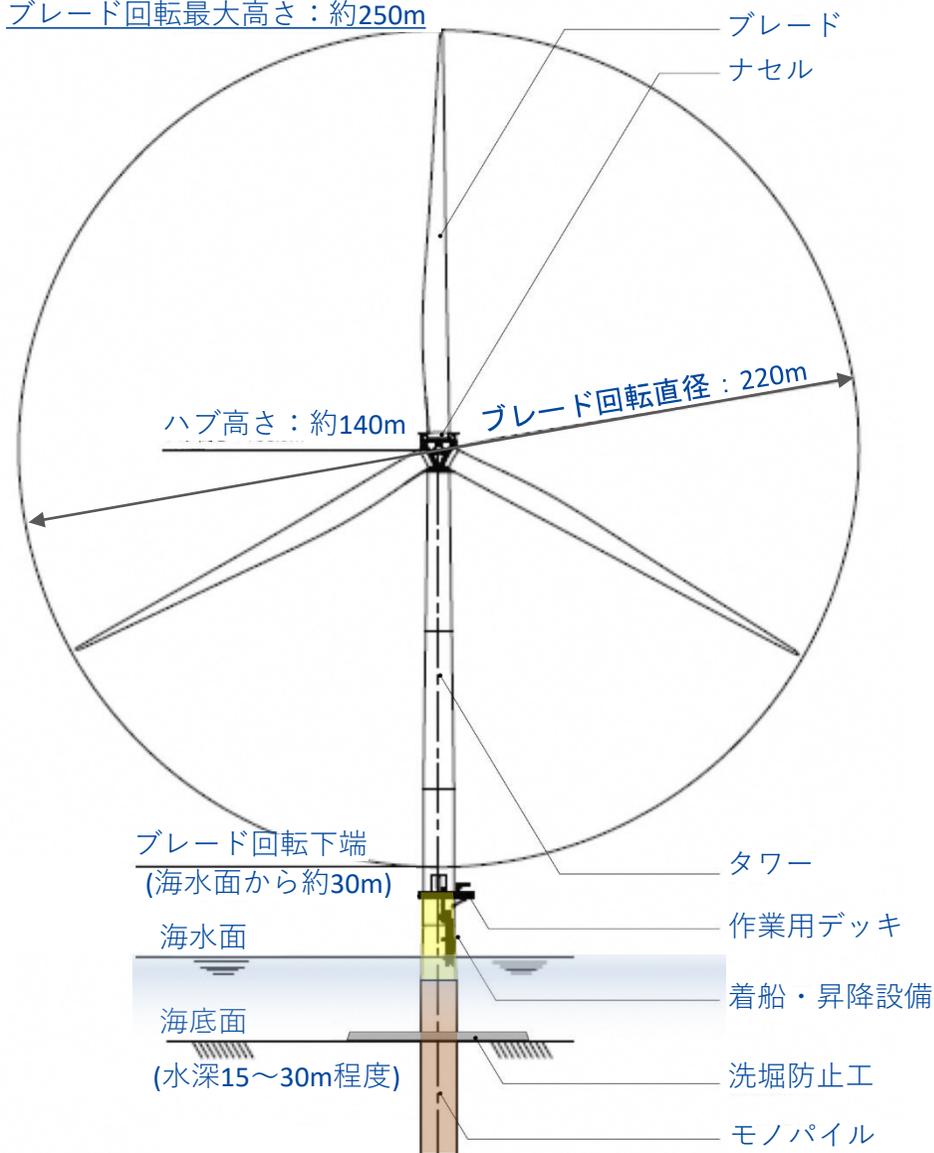
事業概要 (予定)

<p>出資者</p>										
<p>事業概要</p>	<p>発電設備：着床式洋上風力発電 発電設備出力：845MW (13MW×65基、GE製) 運転開始時期：2030年12月 対象区域：北側 6,479.3ヘクタール 南側 6,561.1ヘクタール</p> 									
<p>スケジュール</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>選定通知 2021年 12月</th> <th>開発 (約4年)</th> <th>着工 2026年 3月</th> <th>建設 (約5年)</th> <th>運転開始 2030年 12月</th> <th>操業・撤去 (約22年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 公募占用計画認定 ✓ 風況・海底地盤調査 ✓ 環境影響評価 ✓ 漁業影響調査 ✓ 詳細設計、各種認証・許認可 ✓ 地域共生策の協議・一部実施 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 陸上送変電設備工事 ✓ 風車基礎・海底ケーブル設置 ✓ 風車据付 ✓ 試運転 ✓ 漁業影響調査 ✓ 地域共生策の協議・実施 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 漁業影響調査 ✓ 運転・保守 ✓ 地元企業活用強化 ✓ 撤去計画策定・着工 ✓ 地域共生策の改善・深化 </td> </tr> </tbody> </table>	選定通知 2021年 12月	開発 (約4年)	着工 2026年 3月	建設 (約5年)	運転開始 2030年 12月	操業・撤去 (約22年)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公募占用計画認定 ✓ 風況・海底地盤調査 ✓ 環境影響評価 ✓ 漁業影響調査 ✓ 詳細設計、各種認証・許認可 ✓ 地域共生策の協議・一部実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 陸上送変電設備工事 ✓ 風車基礎・海底ケーブル設置 ✓ 風車据付 ✓ 試運転 ✓ 漁業影響調査 ✓ 地域共生策の協議・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 漁業影響調査 ✓ 運転・保守 ✓ 地元企業活用強化 ✓ 撤去計画策定・着工 ✓ 地域共生策の改善・深化
選定通知 2021年 12月	開発 (約4年)	着工 2026年 3月	建設 (約5年)	運転開始 2030年 12月	操業・撤去 (約22年)					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公募占用計画認定 ✓ 風況・海底地盤調査 ✓ 環境影響評価 ✓ 漁業影響調査 ✓ 詳細設計、各種認証・許認可 ✓ 地域共生策の協議・一部実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 陸上送変電設備工事 ✓ 風車基礎・海底ケーブル設置 ✓ 風車据付 ✓ 試運転 ✓ 漁業影響調査 ✓ 地域共生策の協議・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 漁業影響調査 ✓ 運転・保守 ✓ 地元企業活用強化 ✓ 撤去計画策定・着工 ✓ 地域共生策の改善・深化 								

設備概要 (予定)

発電出力	845MW (13MW/基 × 65基)
風車発電機	GE Haliade-X 13MW
基礎形式	モノパイル式
系統連系先	東北電力NW 河辺変電所
建設基地港	秋田港
O&M拠点港	本荘港
工事開始(予定)	陸上：2026年3月 洋上：2029年4月
運転開始(予定)	2030年12月
事業期間(予定)	2030年12月～2052年3月

ブレード回転最大高さ：約250m



主要工程（計画）

- 2022年12月に公募占用計画の認定、2023年6月にFIT事業計画の認定を受けました。
- 本海域における地盤が当初想定よりも軟弱であることが判明したため、2024年度にも海底地盤調査の追加実施を予定しています。このため、設計及び法令手続等の完了時期も見直しが必要となりますが、現時点で洋上工事開始時期や運転開始時期への影響はありません。

区分	工事	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
公募占用計画・FIT認定		▼2022年12月公募占用計画認定 ▼2023年6月FIT事業計画認定								
法令手続等	環境影響評価	[Green bar from 2022 to 2025]								
	ウインドファーム認証 技術基準適合性確認	[Green bar from 2022 to 2026]								
調査設計	漁業影響調査	調査手法の策定⇒調査計画の策定⇒⇒⇒⇒事前調査（2年）							建設中調査（1年）	
	海底地盤調査	[Green bar]	[Green bar]	[Green bar]						
	風況調査	[Green bar from 2022 to 2024]								
	詳細設計		[Green bar from 2023 to 2026]							
工事	陸上送変電設備					▼2026年3月陸上工事開始				
	基地港湾利用期間							2028年3月～2031年3月		
	海底ケーブル敷設								[Green bar]	
	基礎設置								▼2029年4月洋上工事開始	
	風車組立/設置								[Green bar]	▼2030年12月運転開始

スケジュールは現時点の計画であり、今後、関係者との協議を踏まえ、必要に応じて都度見直しを図って参ります。

協議会意見とりまとめにおける留意事項 への対応方針



① 漁業影響調査について

- 協議会意見とりまとめにおける留意事項では、発電事業における漁業への影響について十分な配慮と調査の実施が求められています。
- ご意見を踏まえ、事業者としても洋上風力発電設備の建設・稼働に伴う漁業への影響を把握し、事業による漁業への影響の緩和軽減策の検討、併せて今後の漁業共生策の検討を行うための客観的なデータを収集することを目的に、関係漁協さまの協力のもと、今後調査を実施して参ります。

② 漁業影響調査実施に向けた考え方

- 漁業影響調査の手法、調査計画については、2022年12月に、関係漁業者、秋田県、学識者等の皆さまを構成員とする事業者主導の「漁業影響調査検討委員会」を立ち上げ、合意のもとに取り進めて参ります。
- 漁業影響調査が適切に行われるよう、漁業影響調査検討委員会は以下の役割を担います。
 - ・ 具体的な調査計画の審査、承認
 - ・ 調査の実施状況、結果への指導、助言
 - ・ 公開する調査結果、データ等の審査、承認
 - ・ 調査を行う上で生じた課題等への指導、助言

地域や漁業との共存及び漁業影響調査（3.留意事項(2)） 2/3

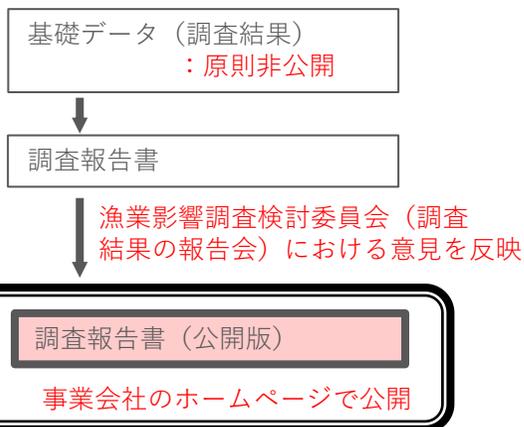
当該地域における漁業影響調査については、下記のスケジュールで検討・準備を進めています。
 2023年度は、前述の通り「調査の手法」の策定を行い、「調査結果及びデータの取り扱い」と併せて、「漁業影響調査検討委員会」において、承認をいただきました。

<スケジュール（2024年3月時点の予定）>

項目	年	2022				2023				2024				2025				2026				2027				2028				2029				2030				2031	
	月	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	5				
法定協議会		★第4回				★第5回								法定協議会へ報告				法定協議会へ報告								法定協議会へ報告													
検討委員会		▽第1回 (立ち上げ)				▽第2回 (手法承認)				▽第3回 (計画承認)				▽第4回：事前調査1年目 (調査実施状況・結果報告など)				▽第5回：事前調査2年目 (同左)								第6回▽建設中 (同左)													
調査の手法の策定		■																																					
調査計画の策定						■				■																													
現地調査 ※ 調査計画で時期を検討するため、 裕度のある範囲で記載						■				■				事前調査（2年間）								事後調査：建設中（1年間）稼働中（3年間）																	
EIA現地調査（参考）		■																																					
洋上工事（予定）																										着工 29/4 完工 30/12													

スケジュールは現時点の計画であり、今後、関係者との協議を踏まえ、必要に応じて都度見直しを図って参ります。

<調査結果及びデータの取り扱い>



- <公開媒体>
 事業者（秋田由利本荘オフショアウィンド合同会社）のホームページで公開。
 （「調査報告書（公開版）」を掲載（調査の結果・成果の著作権は事業会社に帰属））
- <結果のとりまとめ>
 ・調査報告書は、1年分の調査ごとに取りまとめ。
- <公開内容の検討・協議（考え方）>
 ・事業者は、「調査報告書」の作成後、「漁業影響調査検討委員会」を開催し、調査結果を報告。
 ・その際に、公開に不適切と想定される情報（漁業者個人のノウハウ等が公知になるおそれのある漁場情報など）の有無を委員会にて確認・ご意見をいただき、「調査報告書（公開版）」としてとりまとめる。
 ・なお、報告書の基となる「基礎データ」の扱いについては、原則非公開とするが、公益性や漁業振興に資するものは、事業者にて個別に対応する（目的・相手先に応じて提供）。

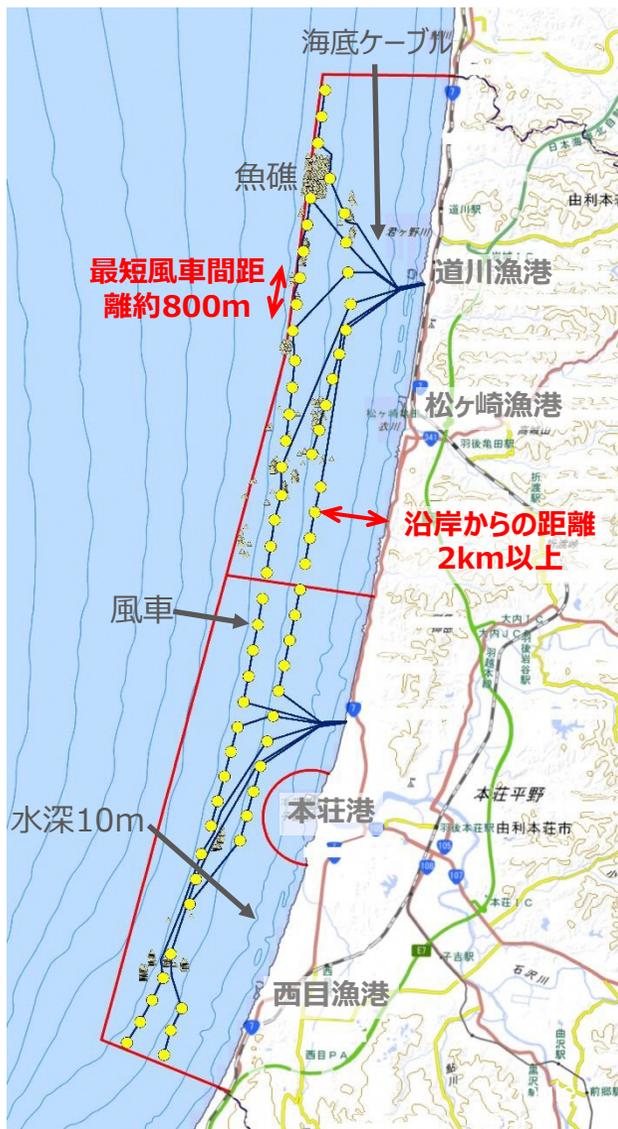
地域や漁業との共存及び漁業影響調査（3.留意事項(2)） 3/3

< 漁業影響調査 地区別調査計画案（まとめ） >

地 区		事業区域内				事業区域外		
		道川	松ヶ崎	本荘	西目	平沢	金浦	象潟
漁 協		秋田県漁業協同組合 南部支所		本荘西目地区		秋田県漁業協同組合 南部支所		
操 業 影 響	操業情報調査	標本船調査	○		○		○	
		水揚げ資料等調査	○		○		○	
	聞き取り調査	○		○		○		
生 物 影 響	漁獲調査	○		○		○		
	産卵調査	○		○		○		
	稚魚調査	○		○		○		
	胃内容物調査	○		○		○		
	聞き取り調査（サケ・マス・アユ）	秋田県鮭鱒増殖協会、子吉川水系漁協						
	その他魚類調査	○		○		○		
	付着生物調査	○		○		○		
	底生生物調査	○		○		○		
プランクトン	既存資料調査による情報収集等を検討							
環 境 影 響	水質（水温・塩分・濁度※） 流況(流向流速)	○		○		○		
	水中音	○		○		○		
	漂流物・堆積物	○		○		○		
	地形・地質、その他	聞き取り調査による情報収集等を検討						

※ 水温・塩分・濁度は、漁獲調査時に多項目水質計を用いての観測を想定

洋上風力発電設備等の設置位置等 (3.留意事項(3))



(電子地形図 (国土地理院) を加工して作成)

協議会意見をはじめとする関係者の皆さまのご意見を踏まえて、風車・海底ケーブル等の配置を計画しています。引き続き、関係漁業者さまをはじめとする地域との協議、環境影響評価や海底地盤調査の結果を踏まえ、必要に応じて最適化を図って参ります。

「協議会意見とりまとめ」留意事項への対応

- **漁業への影響**
引き続き関係漁業者さまへの丁寧な説明・協議を行って参ります。
- **設置水深**
漁業との共存共栄の理念のもと、風車は水深10m以深へ配置する計画としております。
- **既存海洋構造物**
海底面調査により魚礁等の存在を確認しました。秋田県、由利本荘市、及び関係漁業者の皆さまと協議し、風車・海底ケーブルは魚礁等の保全及び管理に支障がないように配置しております。
- **船舶の航行**
船舶の航行の安全確保に向けて関係各所との協議を継続していくと共に、航行安全調査を実施し、必要となる安全対策を検討して参ります。
- **電波環境**
主要な放送局間の電波見通しに影響ない配置計画としております。今後、現地調査を含め詳細検討を行って参ります。
- **気象レーダー**
気象庁より気象レーダーの観測への影響が無いことを確認しております。

その他洋上風力発電設備等の設置位置に関する検討状況

- **環境影響評価**
騒音、風車の影等への影響に配慮し、沿岸から2km以上の離隔を確保しております。
- **海底地盤調査**
海底地形や地盤の性状を踏まえて、風車や海底ケーブルの配置を検討しております。
- **海底ケーブル陸揚げ地点**
海底ケーブルは南北2箇所での陸揚げを計画しており、北側の陸揚げ地点については、陸上送電ルートへのアクセス性等の検討を行い、道川漁港の北側から南側へ見直しました。

船舶の航行の安全確保 (航行安全調査)

海域における船舶の航行環境等を調査し、付近を航行する船舶に与える影響や航行安全上の課題等を検討・抽出し、洋上風力発電設備等の建設・稼働時に必要な航行安全対策や船舶の運航ルートを策定するため、「(仮称)船舶航行安全対策検討委員会」を開催していく予定です。

【建設時の航行安全対策 検討内容(案)】

- ・風力発電機及び海底ケーブル設置工事の航行安全対策
- ・荷役及び海上輸送時における航行安全対策

【稼働時の航行安全対策 検討内容(案)】

- ・風車に必要な灯火（航路標識）等の視認状況
- ・船舶の運航ルールを含む航行安全対策

海上保安庁関係機関（第二管区海上保安本部、秋田海上保安部）および海難防止協会へ概要を説明し、進め方についてご了解を得ております。

委員会構成(案)：学識経験者、海事関係団体、関係行政機関等

開発段階における安全確保に向けた取り組み

- 調査等における災害発生時における対応マニュアルを制定、運用を開始しています。
- 安全専任者を配置し、海底地盤調査等における現場の安全確認を実施しています。
- 秋田県ツキノワグマ出没警報の発令、調査時における熊との遭遇事象を受け、熊による被害防止策を制定しました。

船舶航行安全対策検討委員会 検討フロー(案)

第一回

1. 事業概要
2. 海域に関する現況
3. 建設工事の作業内容

第二回

1. 建設工事中の船舶航行安全対策（素案）
2. 風車稼働中の視認性等の検討

風車の視認性シミュレーション

第三回

1. 建設工事中の船舶航行安全対策（案）
2. 風車稼働中の視認性等の検討
3. 風車稼働中の船舶航行安全対策（素案）
4. 報告書（骨子案）

第四回

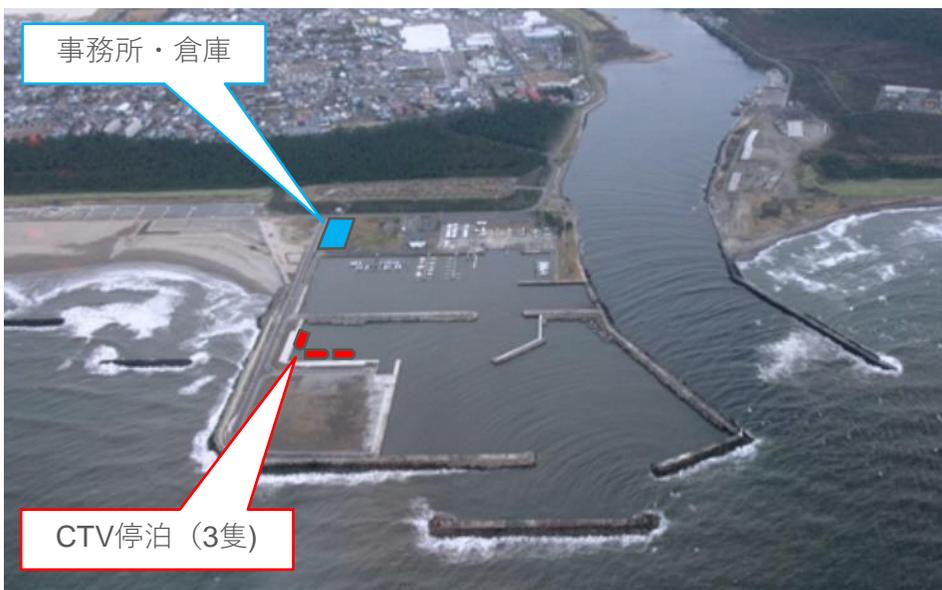
1. 風車稼働中の船舶航行安全対策（案）
2. 報告書（案）

発電事業の実施 (3.留意事項(5))

O&M(運転・維持管理)基地港

- O&M基地港として本荘港を利用する計画であり、港内の静穏度検討を行った結果、メンテナンス時に利用するCTVの係留に対して、十分な静穏度が確保されていることを確認しました。
- O&M基地港として必要な係留設備等の設計を行った上で、秋田県港湾空港課、秋田県由利地域振興局、由利本荘市エネルギー政策課へ整備内容をご説明し、ご了解いただいております。
- 現在、O&M関連施設（事務所・倉庫等）の基本設計業務を実施しており、業務進捗に合わせて、関係各所へのご説明・協議を本格化させる予定です。

本荘港利用計画



スケジュールは現時点の計画であり、今後、関係者との協議を踏まえ、必要に応じて都度見直しを図って参ります。

CTVイメージ



O&M関連施設イメージ



想定スケジュール



環境配慮事項について (3.留意事項(6))

環境配慮事項については、以下のとおり取り組みを進めております。

<環境影響評価手続き>

- 環境影響評価は、2023年夏季までに現地調査を実施し、調査結果の整理及び工事計画を踏まえた予測・評価を進めております。
- 予測・評価の結果などは、環境影響評価準備書として取りまとめ、届出・縦覧を行うほか、皆さまへの説明会を計画します。
- また、地域の自治会さまにも、地域共生策案等を説明する機会などで進捗をお伝えするなど丁寧な対応を引き続き進めて参ります。



項目	2023年度				2024年度			
	4	7	10	1	4	7	10	1
環境影響評価	現地調査	[Progress bar]						
	予測・評価		[Progress bar]					
	準備書						[Progress bar]	
	評価書						評価書の確定：2026年1月予定	

環境要素	調査内容
大気環境	騒音、超低周波音
水環境	水質、底質
その他環境	風車の影
動物	哺乳類 (コウモリ類)
	鳥類
	海域に生息する動物
植物	陸域に生育する植物
	海域に生息する植物
景観	眺望点及び景観資源、眺望景観

スケジュールは現時点の計画であり、今後、関係者との協議を踏まえ、必要に応じて都度見直しを図って参ります。

秋田県内企業とのマッチング

(陸上送変電設備工事)



マッチングに向けた取り進め方について

元請企業による協力企業選定に関して：

- 事業者と各元請企業との契約に於いて、協力企業選定の最終意思決定に、事業者が関与することが出来ない建付けとなる予定も、元請企業、秋田県、由利本荘市、由利本荘市商工会と連携しマッチングイベント等を企画・実行するなど積極的に協力企業選定についてサポート致します。
- 事業者として洋上風力発電事業のスムーズな立ち上がりには、地元の皆様のご支援なしには成り立たないと考えており、元請企業に対して、その考えを継続的に共有して参ります。
- 洋上風力発電事業は新しい分野ということもあり、特に運転・保守（O&M）分野などでは、事業者のみならず皆様にもチャレンジ頂くことが秋田県内企業への発注量の増大につながるものと考えております。
事業者として、地元の皆様に新規事業の機会を活用頂くべく、情報提供に努めて参ります。
- 当事業は事前に策定された予算を前提に取り組んでおります。共に事業成功を分かち合えるように皆様からの積極的な提案を期待しております。

陸上送変電設備工事

以下記載の施工体制に基づき、各陸上関連工事の委託先を選定予定です。



■ 秋田県内マッチング対象候補
■ 秋田県外企業となる可能性のあるもの

地中送電工事
(管路・マンホール他)

電気工事
(送電線・変電所)

土木工事
(変電所)

資材調達



一次請企業

管路・マンホール工事

協力企業 (二次)

協力企業 (三次以降)

推進 (簡易) 工事

協力企業 (二次)

協力企業 (三次以降)

関連付帯工事 (舗装他)

協力企業 (二次)

協力企業 (三次以降)

ケーブル入線・接続工事

協力企業 (メーカー)

協力企業 (三次以降)

鉄塔新設工事

協力企業 (電工会社)

協力企業 (三次以降)

変電所造成工事

協力企業 (二次)

協力企業 (三次以降)

変電機器据付工事

協力企業 (電工会社)

協力企業 (三次以降)

製造協力

協力企業 (二次)

協力企業 (三次以降)

材料メーカー他

協力企業 (二次)

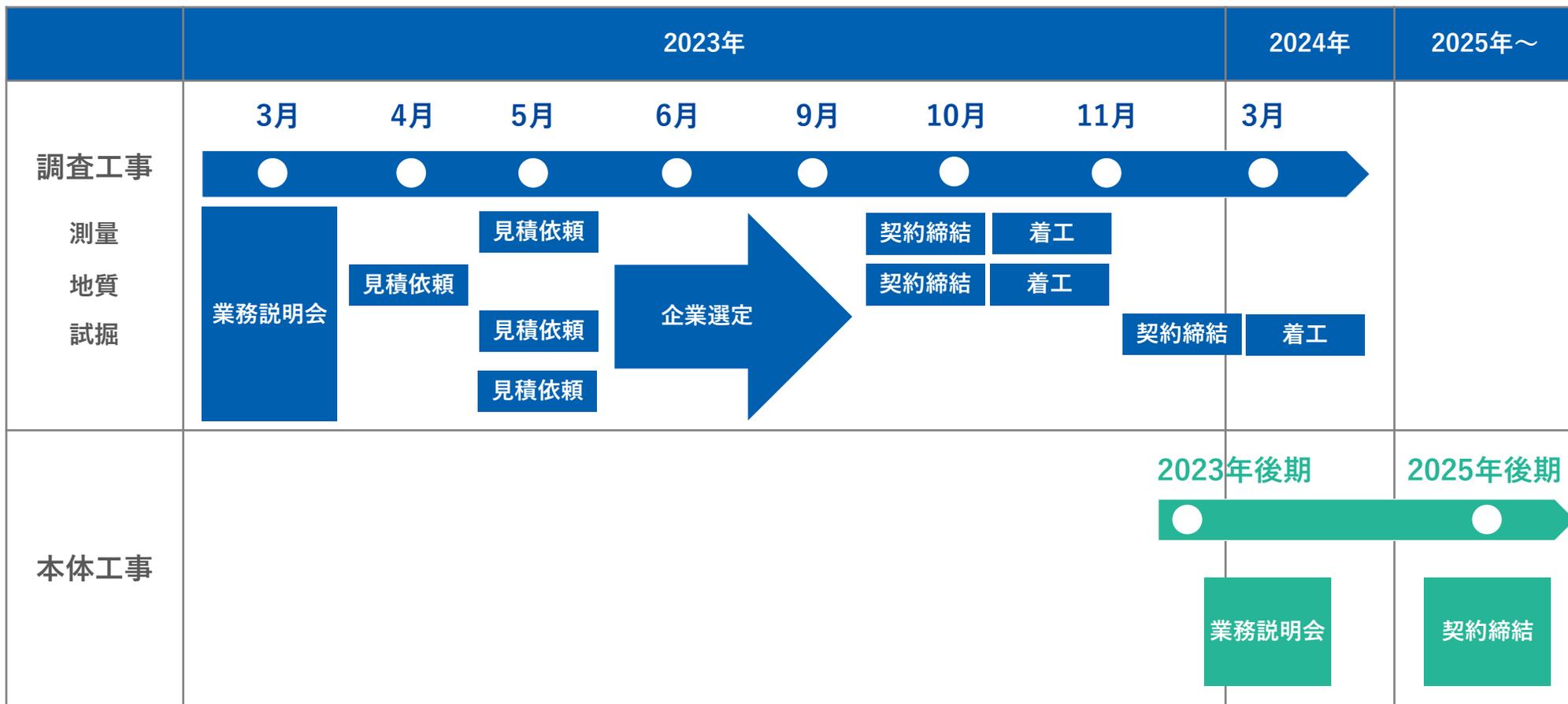
協力企業 (三次以降)



- ※ 一次請企業：電力会社発注工事（154kVケーブル・管路工事等）の元請として受注・施工実績のある会社を想定
- ※ 上記施工体制は予定であり、請負企業に資材調達を依頼する場合あり
- ※ 秋田県内マッチング対象候補の協力企業については秋田県外の企業を選定する場合もあり

陸上送変電設備工事 マッチングスケジュール概要

- 調査工事と本体工事を分け、委託企業を選定予定です。
- 調査工事は、小規模且つ対象企業が限定的なため、2023年3月に関連産業団体を通じて業務説明会を実施済みです。
- 本体工事は、2023年後期以降、「秋田風作戦」や「あきた洋上風力発電関連産業フォーラム」等を利用し業務説明会を告知します。



スケジュールは現時点の計画であり、今後、関係者との協議を踏まえ、必要に応じて都度見直しを図って参ります。

これまでのマッチング関連説明会 実施実績

2023年3月1日 あきた洋上風力発電関連産業フォーラム

場所： ANAクラウンプラザ秋田にて
出席者： あきた洋上風力発電関連産業フォーラム会員企業・団体、過去に再エネ関連産業マッチングフォーラムに参加した企業、県内風力発電設備の運営事業者等 約170名

2023年3月10日 調査工事（測量）説明会（午前）

工事内容： 設計用図面作成のために必要となる詳細情報取得のために現地で測量を実施するもの
場所： 秋田県産業技術センター講堂にて
出席者： 一般社団法人 秋田県県土整備コンサルタンツ協会 会員企業（18社 32名）

2023年3月10日 調査工事（地質）説明会（午後）

工事内容： 送電設備や変電設備の設計のために必要となる地盤情報取得のために実施するもの（ボーリング調査）
場所： 秋田県産業技術センター講堂にて
出席者： 一般社団法人 秋田県地質調査業協会 会員企業（14社 19名）
*協会が窓口としてモデル見積取りまとめを実施

2023年3月29日 調査工事（試掘）説明会（午後）

工事内容： 地中送電線の設計のため、地中に埋設されている他設備（水道・ガス・電気等）の状況を実際に地面を掘って正確な位置を確認するもの
場所： 秋田県産業技術センター講堂にて
出席者： 一般社団法人 秋田県建設業協会 会員企業（33社 49名）

2023年5月11日 秋田風作戦 全体会

場所： 秋田キャッスルホテルにて
出席者： 秋田風作戦会員・団体等 約250名（オンライン参加含む）

2023年11月8日 秋田風作戦 全体会（マッチングイベント開催の告知のみ）

場所： 秋田キャッスルホテルにて
出席者： 秋田風作戦会員・団体等 約300名（オンライン参加含む）

直近の秋田県内でのマッチングイベント

1. 日程案・業務説明会実施場所

- 2月29日（木）に秋田市内（秋田キャッスルホテル）にて実施
- 3月6日（水）に由利本荘市内（ホテルアイリス）にて実施

2. 業務説明会概要

- 主催者（秋田県さま、由利本荘市沖洋上風力発電事業推進協議会さま）による挨拶・取り組み紹介
- 発電事業者によるプロジェクト概要説明
- シーテック（元請予定会社）による業務内容説明
- 質疑応答
- 名刺交換会（秋田県内企業とシーテック／送電・電気・土木工事担当）

3. 参加者

(1)秋田市

- 124名（あきた洋上風力発電関連産業フォーラム会員（秋田県による組織）及び会員外の秋田県内企業）
- シーテックより11名、事業者より10名

(2)由利本荘市

- 53名（由利本荘市沖洋上風力発電事業推進協議会会員及び会員外の秋田県内企業）
- シーテックより11名、事業者より8名



マッチングイベントによる秋田県内企業の参入機会拡大

- 秋田県内企業による洋上風力事業への参入機会拡大を目指して参ります。
- 公平・公正にマッチングイベントに関する情報が行き渡る様、秋田県、由利本荘市、由利本荘市商工会、産業団体の皆さまと連携し、幅広く情報が入手可能となるように、引き続き取り進めて参ります。

情報通知手段	内容
イベントを活用	秋田県主催の「あきた洋上風力発電関連産業フォーラム」や、「秋田風作戦」を利用した情報通知。
ホームページを活用	最新情報を下記ホームページ内に掲載。 <ul style="list-style-type: none">◆ 秋田県産業労働部 クリーンエネルギー産業振興課（県主催・共催時） https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/14168◆ 秋田由利本荘オフショアウインド合同会社（当社） https://www.yuhow.co.jp
関連自治体との連携	由利本荘市さまとの連携を進め、ホームページに掲載した情報内容を共有、併せ事業者より書面や電子メールによる情報通知を実施。
秋田県内の商工会議所、 商工会、産業団体との連携	ホームページに掲載された情報を各業界団体に共有し、併せ事業者から書面や電子メールによる情報通知を行う。各団体に対して、月報等での情報通知や総会時での個別企業への情報通知を依頼予定。

地域共生

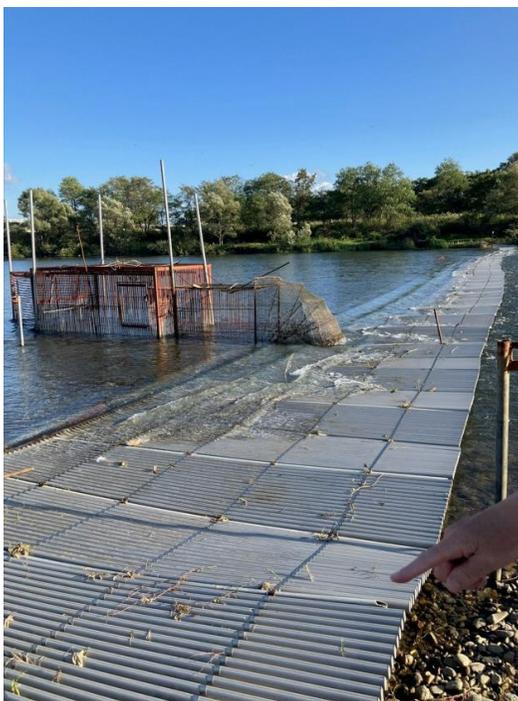


YURIHONJO
Offshore Wind

資源増大の取り組みについて(鮭)

- 持続可能な漁業支援体制の構築に向けて、秋田県で伝統的に親しまれている鮭の資源増大事業に取り組んでいます。具体的には、親魚採捕・採卵・稚魚の育成/放流、PR支援を行っております。
- 鮭は漁業者さまの重要な収入源の一つであり、継続的に本取り組みを実施することで、広く漁業者さまの収入確保の一助となる様、貢献して参ります。

<鮭の親魚採捕・稚魚育成・放流>



遡上する鮭を捕獲する仕掛け(ウライ)



卵の採取・選別をお手伝いする当社職員



生け簀から親魚を取り出す様子(川袋ふ化場)

地元漁業の支援、地域製品の販路拡大

- 一次産業(漁業・農業)を中心とした地域の事業者の発展と、延いては地域の知名度向上に資する様々な施策を検討し、実施しております。
- 具体的には、雨風太陽さまの販路を活用した地元鮮魚のインターネット販売(ポケマル)、ノースコマースさまとの県産品のEC販売支援事業や三菱商事本社前(丸の内)での物産展開催等を通じて、地域製品の販路拡大と販売支援に取り組んでおります。
- また未利用魚であるシイラを用いて、県内高校と共同で商品開発し「シイラジャーキー」を三菱商事の販路を活用して販売中です。
(2023年12月より道の駅おが、アトリオン、秋田空港にて、2024年1月より県内スーパーにて取り扱い開始)

< 漁師さんからの地魚EC直販事業支援 >



< 県内高校と共同開発した商品(シイラジャーキー) >



< 県産品のEC販売支援事業 >

みなさまのイーコマースをサポートします。



能代市、三種町、男鹿市、由利本荘市のみなさまへ

自社商品を Amazon で販売しませんか!

Amazonは、秋田県内の事業者が運営するネットショップでも販売販路を拡大しています。

参加事業者募集中

1事業者2~3商品程度 / 最大30商品募集

お申し込みはメールにて 応募締切日: 2023年 2月28日

※応募資格: 秋田県内(4市町)限定募集! 能代市、三種町、男鹿市、由利本荘市

※応募方法: 参加希望の事業者様へ、お電話、お電話、お電話にてお問い合わせください。

※お問い合わせ先: akita_offshorewind@akita-offshorewind.com

TEL: 018-853-7833

※お問い合わせ先: 018-853-7833

※お問い合わせ先: 018-853-7833

< 三菱商事本社前での秋田物産展開催 >



由利本荘市職員さまも店頭で販売支援。

人材育成(人材育成拠点の創設)

- 秋田県を日本を代表とする洋上風力発電の人材育成拠点とするべく、メンテナンス産業の育成支援、産学連携を通じた人材育成、次世代教育に取り組んでいます。
- O&Mのプロフェッショナル人材育成(高校生・高専生等)：風車メーカーやO&Mの実績を有する協力企業さまと共に、地元人材を採用・育成することで、地域に根差し地域産業に貢献します。
- 産学連携講座・研修および共同研究(大学生等)：地元大学(秋田大学、国際教養大学、秋田県立大学等)や研究機関と連携し、洋上風力人材輩出に貢献します。秋田大学と国際教養大学とは、既に連携協定書を締結し、具体的な取り組みを始めております。
- 次世代教育(小中学生等)：出前講座・職場体験・バックヤード見学・校外学習・環境教育等により、次世代の育成にも取り組んでおります。

<国際教養大学での寄附講座提供>



国際教養大学で22年度と23年度の春学期(全15回、英語)に寄附講座を提供。世界のエネルギー情勢、洋上風力開発、企業の脱炭素の取組などのテーマで毎回授業をアレンジ。

<市立 新山小学校での出前講座>



由利本荘市立新山小学校の6年生に手回し発電機や風力発電機等を用いた体験型授業を開催。発電体験と共に、SDGsや再生可能エネルギーについても紹介。

秋田洋上風力自治体によるパネルディスカッション企画

- 地域そのものや地域特産品の知名度向上のみならず、関係人口の増加と新たなつながりの創出を目的としたイベントを東京都千代田区にて開催しました。
- 由利本荘市、能代市、三種町、男鹿市からご参加頂き、洋上風力発電事業を誘致した経緯・背景をはじめ、事業者選定前後の変化や、各自治体さまが抱える具体的な課題についてパネルディスカッション、及び質疑応答を行いました。
- また当日は各自治体さまから地域特産品を持参頂き、紹介する機会も設けました。



総合訓練センター(風と海の学校 あきた)との連携

- 日本郵船さまにより、洋上風力関連の人材輩出並びに教育・人材育成にも資する地方創生の拠点として、秋田県内の教育施設の一部を活用した洋上風力発電の総合訓練センター(風と海の学校 あきた)が2024年春に開所される予定です。
- 当社は発電事業者として、当訓練センターと連携し、人材育成・需要創出への貢献に取り組んで参ります。



< 写真提供：日本郵船(株) >

ご清聴有難うございました



YURIHONJO
Offshore Wind